

富士癒しの森研究所自動撮影カメラ調査成果報告 (2016年4月～2021年3月)

辻 良子^{*1}・辻 和明^{*1,*2}・西山教雄^{*1}

Monitoring report of the vertebrates using camera traps in Fuji Iyashinomori
Woodland Study Center, The University of Tokyo
(April, 2016–March, 2021)

Ryoko TSUJI^{*1}, Kazuaki TSUJI^{*1,*2}, Norio NISHIYAMA^{*1}

I. 調査地

調査は山梨県南都留郡山中湖村に位置する富士癒しの森研究所 (面積 41.05ha)¹⁾で行った。2016年4月から2021年3月まで3地点 (I-2, III-12, III-14) に観測点を設定して調査を行った。富士癒しの森研究所の位置や地況, 植生などの詳細については, ウェブサイト (<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/fuji/>) を参照されたい。

II. 調査概要と使用機器

調査は2016年4月から2021年3月までの5年間行った。調査地ごとの稼働期間, 撮影数内訳, 使用した機器および設定条件, 位置情報を附表-1に示す。なお, コウモリ類と, 鳥類の一部については同定を行わなかった。

III. 結果

(1) 撮影数と確認種

撮影された総数は14,848枚で, そのうち有効撮影は11,739枚であった。鳥類を含む脊椎動物が確認できたものは10,395枚であった。その内訳は, コウモリ類を除く哺乳類5目10科13属13種10,252枚, コウモリ類23枚, 鳥類7枚, 判別不能哺乳類・鳥類123枚であった。哺乳類の内訳はキツネ15枚, タヌキ76枚, イヌ6枚, ツキノワグマ8枚, アライグマ5枚, テン23枚, アナグマ6枚, ハクビシン3枚, イエネコ11枚, イノシシ163枚, ニホンジカ9,933枚, ニホンリス1枚, ニホンノウサギ2枚であった。このうちアライグマは環境省外来生物法の特定外来

*1 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所

Fuji Iyashinomori Woodland Study Center, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo

*2 現所属: 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所

Present address: Arbicultural Research Institute, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo

生物に指定されている。

(2) 鳥獣撮影リスト一覧

富士癒しの森研究所で2016年4月から2021年3月までに撮影された鳥獣撮影のリストを附表-2に示す。なお、一枚の画像に複数種が映っている場合もあるため、附表-1の鳥獣撮影数と附表-2の延べ鳥獣撮影数の合計値は一致しない。

IV. 謝辞

各撮影の判別について、柴田ゆう子氏、齋藤純子氏、高村史香氏にご協力いただいた。この場を借りて御礼申し上げます。

引用文献

- 1) 富士癒しの森研究所自動撮影カメラ成果報告（2011年4月～2016年3月）演習林59：129-136.

「附表－1」および「附表－2」については、東京大学学術機関リポジトリ（UTokyo Repository）に掲載しています。

URI: <https://doi.org/10.15083/0002002921>